

- 令和4年度アクションプランの推進・検証の考え方
 ・令和4年度アクションプランにおける各戦略の施策からKPIへの寄与度が高い主な事業を抽出し、進捗状況と実績等の検証を行う。
 ※ 上記以外の事業については、総合計画で定めたKPIにより実績等を把握

戦略名	KPI	A.KPI向上のための施策 (=R4アクションプランに掲げる施策)	B.事業名	C.概要	D.予算額	E.期間	F.進捗状況	G.実績・効果・改善点
(4)新産業戦略	・カーボンニュートラルやSDGsなどの世界的な潮流も見据えて、県内企業のDX・高付加価値化により収益力を高め、製造業における付加価値率の全国上位を実現 ・新たな製品・サービス、企業、市場の創出により、県民1人あたりの県内総生産を年約2%増加	①自立した経済圏の確立	富山県カーボンニュートラル戦略策定事業	世界的な潮流を踏まえ、本県におけるカーボンニュートラルの実現に向けた取組みを推進する戦略を策定	32,000	R4.4 ～R5.3	R4.6 プロポーザル実施 R4.8 第1回小委員会開催 R4.11 第2回小委員会開催	○今年度の策定に向けて検討中
			とやま成長産業創造プロジェクト推進事業	成長が期待される分野での事業化を進めるため、研究会活動に加え、新たにグリーン成長戦略分野に関連する新製品、新技術の研究開発を支援	59,320	R3～	R4.6研究開発テーマ採択	○R4研究開発テーマ 単独企業枠2件 ①単ロール式急冷凝固法による蓄電池用電極薄帯の製造技術確立(中越合金鑄工) ②廃棄マグネシウムの塩水処理による水素製造実証および水素利活用法の検討(北酸)
		②広域交通インフラの整備、経済交流	ポートセールス推進事業	インセンティブ制度による集荷、現地説明会やセミナー開催等のPR活動、海外ポートセールス訪問団派遣等を行い、伏木富山港の利用を促進	67,136	R4.4 ～R5.3	(通年)インセンティブ制度のPR R4.7.26 第1回 伏木富山港現地視察会の開催 R4.9.13～16国際物流総合展へ出展 R4.10.26～28スマート物流EXPO(名古屋)へ出展 R4.10.31 第2回伏木富山港現地視察会の開催 R4.11.10 伏木富山港利用促進セミナーin東京の開催	○第1回現地視察会:基調講演やコンテナヤードの視察等を実施、参加者90人。 ○国際物流総合展への出展:4日間で計391人がブースに立ち寄り、伏木富山港のPRを行った。 ○スマート物流EXPOへの出展:3日間で計144人がブースに立ち寄り、伏木富山港のPRを行った。 ○第2回現地視察会:基調講演やコンテナヤードの視察等を実施、参加者82人。 ○伏木富山港利用促進セミナーin東京:基調講演や活用事例報告、意見交換会などを実施、計97名が参加した。
		③県内企業のDX・高付加価値化支援	中小企業デジタル変革推進事業	県内企業のデジタル技術を活用した企業変革を推進するため、成功事例の動画作成や、企業課題に応じた講座開催、企業への指導者派遣等を実施	50,000	R4.4 ～R5.3	R4.5 プロポーザル実施 R4.6 委託業者との契約締結 R4.9～ 成功事例の動画公開中 社会人向けの各種講座開催中	○動画:成功事例として取り扱う企業5社を選定。現在4社の動画を作成し、公開済み。 ○社会人向けの各種講座:3種類の講座を実施。①12社12名②20社26名③14社23名が参加。
			中小企業ビヨンドコロナ補助金	新型コロナで打撃を受けた事業者を対象に、DXや販路開拓、環境改善といった取組みを支援	1,000,000(2月補正) 1,000,000(当初予算) 1,000,000(6月補正) 500,000(9月補正) 1,000,000(11月補正)	R4.3 ～R5.11	第一次募集:R4.3.30～R4.5.13 第二次募集:R4.6.21～R4.8.19 第三次募集:R5.2下旬～R5.4下旬	○申請・採択実績 第一次募集:申請1,440件、採択982件 第二次募集:申請2,855件、採択2,113件
			ビッグデータ活用プラットフォーム構築事業	データ利活用による県民の利便性向上や地域課題解決を図り、ニュービジネス創出にもつなげるため、データ連携基盤構築に向けた実証実験等を実施	11,000	R4.4 ～R5.3	R4.4～5 プロポーザル実施 R4.6～ 県と市町村でデータ連携や実証実験等について協議 R4.12～ 防災や観光分野のデータをダッシュボードで表示し、活用方法を協議予定	○実証実験: ①10月16日の県総合防災訓練においてAIを活用したカメラ画像分析により避難所の混雑状況の把握を検証 ②防災や観光分野のデータを実証実験環境に格納し、ダッシュボードで表示
			DX施策立案高度化事業	企業・自治体等におけるDX推進の高度化とデジタル分野での官民連携強化を図るため、シンガポール国立大学と連携したDX推進プログラムとシンガポールでのフィールドワークを実施	7,063	R4.4 ～R5.3	R4.8～10 シンガポール国立大学と連携したDX推進プログラムを実施 R4.12.18 シンガポールでのフィールドワークの実施予定	○DX推進プログラム: ・官民連携によるプログラムとして民間企業からも参加を募って実施 ・県職員9名、民間企業社員10名が受講済み ・今年度の優秀賞グループと昨年度の受講生(県職員3名、民間企業2名)等が12/18(日)からフィールドワークを実施予定
			データサイエンス連携推進事業	富山大学が実施する、社会人向けデータサイエンス講座等を支援	20,000	R4.4 ～R5.3	R4.5～ 社会人向けデータサイエンス講座を実施中 R4.6～7 DXセミナーを開催	○データサイエンス連携推進事業: ・データサイエンス講座(上期)319名受講 ・DX学修セミナー(上期)4回、487名受講

戦略名	KPI	A.KPI向上のための施策 (=R4アクションプランに掲げる施策)	B.事業名	C.概要	D.予算額	E.期間	F.進捗状況	G.実績・効果・改善点
		④カーボンニュートラルを踏まえた 産学官連携の強化	富山県カーボンニュートラル 戦略策定事業(再掲)	世界的な潮流を踏まえ、本県における カーボンニュートラルの実現に向けた取 組みを推進する戦略を策定	32,000	R4.4 ~R5.3	R4.6 プロポーザル実施 R4.8 第1回小委員会開催 R4.11 第2回小委員会開催	○今年度の策定に向けて検討中
	産学官オープンイノベーショ ン推進事業		成長産業分野の産学官連携による技術 開発や新製品開発を促進	31,560	R4~	R4.6 研究開発テーマ 採択 R4.9 研究開発テーマ 追加採択	○新ものづくり戦略推進枠2件 ①セルロースナノファイバー少量添加に よる高性能バイオプラスチック複合材料 開発とカーボンニュートラル対応自動車 部品の実用化検討 ②デジタルツインによるボトムターミネ ーション部品の高信頼性実装プロセスの確 立 ○新商品・新事業創出枠2件 ①画像認識による被投入物の認識、識 別機能を有した高機能資源分別回収ボツ クスの開発 ②レーザー精密加工技術を活用した圧 縮処理木材の三次元加工技術の開発お よびそれをを用いた弦楽器の試作に関する 研究	
	とやま成長産業創造プロ ジェクト推進事業(再掲)		成長が期待される分野での事業化を進 めるため、研究会活動に加え、新たにグ リーン成長戦略分野に関連する新製品、 新技術の研究開発を支援	59,320	R3~	R4.6研究開発テーマ採択	○R4研究開発テーマ 単独企業枠2件 ①単ロール式急凝固法による蓄電池 用電極薄帯の製造技術確立(中越合金 鑄工) ②廃棄マグネシウムの塩水処理による 水素製造実証および水素利活用法の検 討(北酸)	
	⑤アルミ・くすり、リサイクル等の産業 競争力強化	アルミ産業成長力強化戦略 推進事業	アルミの特性を活かした研究開発プロ ジェクトの事業化やアルミのリサイクル (グリーン化)に向けた研究開発を支援	72,990	R3~	○アルミのリサイクル(グリーン化)に向 けた研究開発 R4.6 新規テーマ 採択 R4.8 新規テーマ 追加採択	○継続テーマ(R3~) 3件 ①リサイクルアルミ材料の溶解工程にお ける環境負荷評価と熱マネジメントによる 省エネ2次溶解システムの構築 ②鑄造用アルミ合金材の連続溶解プロセ スにおける素材の溶融歩留まり向上や廃 棄生成物の低減のための溶解技術の開 発 ③アルミ鑄造製の大型建築部材の軽量 化及び部材の水平リサイクルのための大 出力レーザを用いた溶接組立加工技術 及び解体加工技術の開発 ○新規テーマ(R4~) 2件 ①アルミ切削工程における生産効率の 向上と温室効果ガス低減を考慮した最適 生産システム構築 ②SDGs対応生産拠点構築に向けた鍛造 工程のエネルギー監視システムの開発	

戦略名	KPI	A.KPI向上のための施策 (=R4アクションプランに掲げる施策)	B.事業名	C.概要	D.予算額	E.期間	F.進捗状況	G.実績・効果・改善点
			地方大学・地域産業創生くすりコンソーシアム推進事業	県内の産学官によるコンソーシアムを構築し、医薬品産業の振興や専門人材の育成を図るもの	997,000	H30.10～R10.3	<ul style="list-style-type: none"> ○研究開発事業 <ul style="list-style-type: none"> 富山大学、富山県立大学、薬事総合研究開発センターにおいて、専門家からの研究支援のもと、研究テーマの早期事業化に向け推進(10テーマ) ○人材育成事業 <ul style="list-style-type: none"> ・サマースクール開催 ・バイオ医薬品専門人材研修開催 ○各種情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ○研究開発事業 <ul style="list-style-type: none"> 事業化に向けて、以下のテーマが大きく進展 <ul style="list-style-type: none"> ・「注射剤・経口剤の粘膜吸収製剤への応用」(富大) ・「経鼻投与ワクチンの実用化とウイルス感染の予防に向けた研究」(薬総研) ・「免疫代謝の調節による生活習慣病の予防研究」(県大) ・「植物由来の有機分子触媒の開発と医薬品合成」(県大) ・「医薬品製造品質管理における迅速無菌検査法の事業化」(富大) ○人材育成事業 <ul style="list-style-type: none"> ・サマースクール受講者数(全国) <ul style="list-style-type: none"> 富大(9/5～12/13)68名、県大(9/5～9/9)61名※募集枠各50名 ・バイオ医薬品専門人材研修 <ul style="list-style-type: none"> 一般社団法人バイオロジクス研究・トレーニングセンター(BCRET)の支援を受け開催 <ul style="list-style-type: none"> 座学10/3、実習(神戸)10/18～20 ○情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・10/18 産学官連携シンポジウム <ul style="list-style-type: none"> 参加者:約170名 ・10/12～14 Bio Japan2022に出展(パンフィコ横浜) ・11/8 フォーラム富山「創薬」にて研究成果を発表(富大との合同開催) <ul style="list-style-type: none"> 参加者:約90名 ・メルマガ配信(4回)
		⑥実証実験の誘致・実施	デジタルソリューション推進事業	企業等が保有する革新的なデジタル技術(5G、AI、IoT等)を活用した地域課題解決の事例を創出し、県内での新しいビジネスモデルを構築	75,000	R4.4～R5.3	<ul style="list-style-type: none"> R4.5運営事業者プロポーザル実施 R4.6～7各部署等から地域課題や政策課題をヒアリング R4.8～9地域課題を解決する7テーマの実証実験を募集 R4.10 実証実験の採択 R4.11～ 実証実験の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・R4.9.2に実証実験プロジェクト応募促進PRイベント「Digi-PoC TOTAMA(デジボックとやま)」を開催し、会場70名、オンライン80名が参加 ・7テーマの募集に対し、全国から59件の応募
		⑦人材育成、公教育の強化	とやま新時代創造プロジェクト学習推進事業	課題発見・解決能力の育成に向けたプロジェクト学習や今後の知識集約型社会で必要とされる教科等横断的なSTEAM教育を推進	15,500	R4.4～	<ul style="list-style-type: none"> R4.4 各校申請書・計画書提出 R4.5 外部審査によりSTEAM研究開発校等選定 R4.6～各校計画に基づき実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・STEAM教育研究開発校3校 ・地域課題実践重点校10校 ・課題実践校39校 ・R5.1.28に「とやま探究フォーラム」を富山大学と合同開催し、取組について広く周知
			令和のとやま型教育推進事業	小中学校における今日的な課題をテーマとして選定し、各市町村において研究実践に取り組み、県全体の教育の質を向上	9,150	R4.4～	<ul style="list-style-type: none"> R4.4～各市町村において、テーマを基に研究実践 R4.5～教員の授業改善への意識を高める特別講座(講演)の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・全15市町村において実施 ・特別講座には、第1回約140名、第2回約170名が参加、第3回は2月に実施予定